

令和7年5月1日

穴水町長 吉村光輝様

能登トキファンクラブ  
会長 宮下源一郎

コウノトリ巣作り保護の要望書

常日頃から私たち能登トキファンクラブ活動へのご支援ありがとうございます。

2026年6月のトキ放鳥も1年余りと目前に迫ってまいりました、国及び県ではトキ放鳥を能登半島地震からの復興の重要施策の1つに挙げています、本州最後のトキ能里が営巣地とし、佐渡に移送するべく捕獲した地でもある穴水町にとっても大きな関心ごとであります。

そんな中で穴水町の前波地区でツガイで仲良く巣を作っているコウノトリが発見されました。



能里が捕獲された穴水町にコウノトリが営巣に励んでいることは、餌場や営巣環境などトキと生息環境が重なっているとの研究報告が多くあることから、トキ放鳥に弾みをつける出来事であると思います。

県内では津幡町、志賀町や珠洲市などでも雛の誕生の報告があります、穴水町でもコウノトリがもし雛を育てることが出来ればトキ放鳥、野生復帰への大きな1歩になるものと確信しています。

そこで、能登トキファンクラブは次のことを要望します。

1. コウノトリの雛が誕生し巣立つべくその間、営巣電柱の電気配線にバイパスを作り、雛の誕生、巣立ちをするまでコウノトリのツガイを保護すること。
2. 巣立ちが確認されたら、来年の営巣に対応すべく営巣用の電柱を1本整備すること。
3. 営巣中は雛が巣立つまで人の立ち入りを制限すること。
4. 保護方法については専門家の意見を聞き良い方法を選んでほしい。
5. 電柱は北陸送配電（株）の所有物であり、電気を安定的に送電する公益的使命を有しているものであり、難しい課題とは思いますがトキの放鳥が能登地域の住民に大きな勇気と地震からの復興へ力を与えてくれることになると思います、北陸送配電（株）への働きかけをお願いします。
6. 国土交通省を事務局とした「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」は「関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本計画～コウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりを目指して～」を推進しています、能登で計画～コウもこのようなことが出来ないか調査研究をして欲しい。

以 上